

学校だより



《めざす子ども像》
進んで考え、自ら学ぶ子ども
心豊かで思いやりのある子ども
ねばり強くがんばる子ども

令和3年7月8日(木) No.18

校長：須藤 美香 Tel：0880-24-0006

7月の生活目標：きれいな学校にしよう

6年生「未来へつなぐ宝の山 遊べる・学べる・笑顔になれる」

6年生の総合的な学習の時間のテーマは『学び合う方法と実感 地域と共に』です。1学期は「未来へつなぐ宝の山 遊べる・学べる・笑顔になれる」として、学校林での活動体験から、これからの学校林についてしっかり考えるための今年度の学習計画を立て、2学期以降学習を深めていきます。

7月2日(金)には、学校林について深く関わってくださっている朝霧森林倶楽部の浜田 博史さん、湯浅 文彦さんに来ていただき、お話を伺いました。

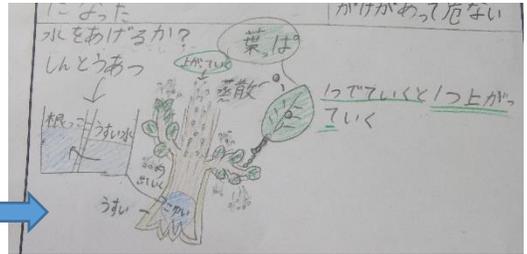


浜田 博史さん



湯浅 文彦さん

始めに、樹木1本に固定されている炭素の量や1本の樹木(20mほどの樹木)はどうやって水をあげているかについて教えていただきました。「根っこからは、10m、20mも水は上がらない。蒸散によって葉の水分が失われると、浸透圧が働いて枝や幹から水をどんどん上げていく。」など、水の上げ方の仕組みを分かりやすく説明してくれました。その話をさらに分かりやすく絵で表現している子どももいました。



次に、『朝霧森林倶楽部がどんな考えで、何をやっていきたいか?今後どうするのか?』について教えていただきました。

- ・平成25年から9年目の活動
- ・学校林の主な樹木…杉、檜(5~60年)
- ・9.7ha(約10ha)の学校林の檜を成長させていく
- ① 平成25年以降何回か太い木を育てるために間伐をしている。
- ② 杉、檜だけでは面白くない。子ども達、地域の人達にとって『潤いのある森』にしたい。
→作業道周辺に桜やもみじの植栽をしている。
- ③ これまでの「切り捨て間伐」からお金になる「収入間伐」に変えていきたい。(これまでも数年前、学校の活動に収入を収めている)
- ④ 200年、300年もつ杉、檜にしていきたい。(その他は、選別した上で間伐し収入に)



いただいた資料を真剣に見ています

最後に、子ども達からの質問に丁寧に答えていただきました。

学校林を『潤いのある豊かな森』にするために、ボランティアで、愛校作業や学習の時間に合わせて、人を集めていただき協力してくださっています。本当にありがとうございます。

今年の6年生が学校林で「やってみたいこと」が『潤いのある豊かな森』につながる取組になるよう見守っていきたいと思います。



5年生の池上友太さんのお母さんが各学年1本ずつ笹を持ってきてくださいました。各学級入口に飾らせていただきました。ありがとうございました。

七夕飾り



昨夜、天ノ川は見れましたか？みんなの願い事が叶うといいですね



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生